

たかた のりみ
高田 律美 TAKATA Norimi

看護学部 看護学科 准教授
E-mail : ntakata@shikoku-u.ac.jp
TEL : 088-665-9224

PROFILE 研究者略歴	DATA 主な業績
<p>■学位 修士（看護学）</p> <p>■学歴 香川県立看護専門学校公衆衛生看護助産学科卒業(1992.4) 愛媛大学法文学部文学科(文学学士)卒業(1997.3) 愛媛大学大学院医学系研究科(修士課程) 看護学専攻卒業（2004.3）</p> <p>■主な職歴 愛媛県立中央病院総合周産期母子医療センター(1986.4) 宇部フロンティア大学人間健康学部看護学科講師(2008.4) 愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科助教(2011.4)</p> <p>■専門分野 助産学、母性看護学、小児看護学</p> <p>■現在の研究 切迫早産妊婦の入院中のケア、母子に関連する睡眠障害、乳児期の体験と思春期の関連、妊娠期のドメスティックバイオレンスなどの研究に取り組んできた。進行中の研究としては、「母子の睡眠の相互作用」と「乳幼児の予期せぬ突然死(SUID)リスクの生理的研究」に取り組んでいるほか、海外での調査として「途上国の子宮内胎児死亡対策」の研究を進めている。</p> <p>■所属学会 日本母性衛生学会会員、日本助産学会会員、日本母性看護学会会員、日本睡眠学会会員、日本アロマセラピー学会会員</p> <p>■担当授業科目 【学部】 看護研究、課題探求ゼミナール、地域母子保健、助産診断・技術学Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、助産学実習、母性保健論、母性看護方法論、プライマリーケア実習、母性看護学実習、総合実習、女性学 【研究科】 小児看護学演習Ⅰ・Ⅱ、助産学特論Ⅳ・Ⅴ、助産学実践演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ</p>	<p>■主な学会及び社会活動等 全国助産師教育協議会広報委員 (2018～現在に至る)</p> <p>■主な受賞歴 ソロプチミスト訓練賞（1992.5）</p> <p>■主な研究論文・著書等 1) Prevention of sudden unexpected infant death (SUID) during sleep at nursery schools (Sleep 2017, Boston) 2) 家庭でのメディア利用についての課題（母性衛生、2017） 3) 双子及び下肢症状を伴う妊娠高血圧症候群妊婦へのアロマセラピートリートメントの効果（第20回日本アロマセラピー学会誌、2017） 4) Safety of infant sleep at nursery schools. (9th Pediatric Sleep Medicine Conference, 2017, Florida) 5) 幼児期の睡眠習慣：通園状況による比較（不眠研究、2017） 6) 保育所における午睡：安全確保・睡眠環境と午睡実施状況（日本睡眠学会、2017） 7) プレコンシプションケアの効果に関する検討（日本助産学会誌、2018） 8) 昭和時代の徳島の母子を支えた助産活動の実際（日本助産学会誌、2018） 9) ザンビア共和国の地方病院における周産期医療の現状（日本助産学会誌、2018） 10) Sleep habit among Japanese preschoolers. (2nd Congress of Asian Society of Sleep Medicine, 2018, Soule) 11) Difference of sleep habit between preschoolers attending nursery schools and kindergartens. (5th International Pediatric Sleep Association Congress, 2018, Paris)</p>